

日本地域福祉学会第33回大会（岡山・倉敷大会）

開催要項

大会テーマ

地域のちから 福祉のあした ～制度の狭間に挑む地域福祉実践～

大会趣旨

昨年7月の西日本豪雨は、岡山県各地に大きな影響を与え、特に大会開催地の倉敷市では深刻な被害が発生した。被災直後から全国からボランティアが駆けつけて、支え合いの機能が全国規模で発揮された。地域共生社会の理念が、単なるかけ声ではなく、市民一人ひとりの意識として浸透しつつあることを感じさせた。しかし、厳しい社会状況が広がっている現実にも目を向けなければならない。ここ数年、障害者差別解消法実施や児童福祉法改正など、希求してきた法制度の拡充が進んできた。新たな法制度の目的の一つは、支援や支え合いから漏れてしまう人がいることについて、法制度の面から改善を図ることであった。しかし、地域関係の希薄化が進むなか、厳しい生活課題を解決していくすべを持たない人々が声も出せず、苦しんでいる今日、早期発見、早期支援を目指しその仕組みづくりが急がれているといえる。2018年4月に改正施行された社会福祉法は、地域住民等が支え合い、地域をともに創っていくことができる「地域共生社会」の実現を掲げ、「我が事・丸ごと」の地域福祉推進の理念を明示した。

岡山県では、見捨てられた孤児を救済した岡山孤児院や、セツルメント活動の始まりといわれる岡山博愛会があり、済世顧問制度が発足し、民生委員制度へと発展した。ハンセン病患者への誤った歴史を克服する取り組みも進められている。支え合いから見捨てられた人々を支えていくために実践を生み出し、制度から見守られない人々を支援するために制度の狭間に挑む実践を先駆的に行ってきた地域である。

本大会では、こうした伝統を受け継ぐ活動を軸として、全国から地域福祉の発展を願う人たちによって、地域福祉実践の明日を語っていききたい。

期 日： 2019年6月8日（土）～9日（日）

会 場： 川崎医療福祉大学

主 催： 日本地域福祉学会、日本地域福祉学会第33回大会実行委員会

後 援：

（調整中）

岡山県社会福祉協議会 岡山市社会福祉協議会 倉敷市社会福祉協議会 総社市社会福祉協議会 浅口市社会福祉協議会 玉野市社会福祉協議会 新見市社会福祉協議会 美作市社会福祉協議会 岡山県社会福祉士会 岡山県民生委員児童委員協議会 岡山市民生委員児童委員協議会 岡山県地域包括・在宅介護支援センター協議会 岡山県老人福祉施設協議会 岡山県社会福祉法人経営者協議会 ノートルダム清心女子大学 新見公立大学 岡山県立大学 美作大学 川崎医療福祉大学 山陽新聞社 山陽放送

1 スケジュール

【1日目】 6月8日（土） 【会場】 川崎医療福祉大学 川崎祐宣記念講堂 他

9:30 10:30 11:00 12:00 13:00 16:00 16:30 16:45 18:00 20:00

受付	開 会 式	基調講演	昼 食	大会企画 シンポジウム	地域福祉優秀 実践賞表彰式	休 憩	総 会	情報交換会
----	-------------	------	--------	----------------	------------------	--------	-----	-------

【2日目】 6月9日（日） 【会場】 川崎医療福祉大学 講義棟他

9:00 9:30 11:00 12:30 13:30 16:30 16:45

受付	自由研究発表Ⅰ (口頭)		昼 食	自由研究発表Ⅱ (口頭)		閉 会 式
	ポスター 発表掲示			ポスター発表掲示 13:30~14:30 (質疑)		
	地域福祉優秀 実践賞報告 9:30~ 11:00	日韓学術 交流企画 10:30~ 12:30	地 方 部 会	地域福祉演習教材開発 ワークショップ 13:30~16:30		

※ 「地域福祉優秀実践賞報告」は受賞者数により終了時刻が変更になる可能性があります。

2 プログラム内容

基調講演 6月8日（土） 11:00~12:00(一般公開)

□ 基調講演テーマ「全国屈指の福祉先駆都市を目指した地域づくり」

行政の首長として、障害者千人雇用を掲げ、社会福祉協議会との協働を進めるとともに、民生委員や福祉委員の力を結集し、企業に働きかけをしつつ、積極的に福祉の充実に向けて取り組んできた。福祉文化の根付く地域づくりは、日頃の支え合いを通して顔の見える関係をつくることから、地域住民全員が力を合わせていく気持ちを持てるようにその環境づくり、基盤整備を担うことを心かけている、その意義について考察する。

登壇者 片岡 聡一 氏 総社市長

□ テーマ 「制度の狭間に挑む地域福祉のあした」

地域には、多様な生活課題を抱えて苦しんでいる方々がいる。無縁死、孤立死で象徴される「一人ぼっち」の人、心ならずも「不法就労」になっている外国人。罪を償った後にも社会の居場所が見つからない出所者。社会からもたらされる圧力のなかで「ひきこもり」となった人。貧困家庭に生まれたが故に貧困を背負っていきっている子ども。理解されず、生きづらさを抱えて苦しんでいる障がい者、少し例示しただけでも、制度からも、支え合いからも見捨てられている人たちがいることがわかる。

このような制度の狭間で苦しんでいる人々と共に生きる社会の実現を目指し活動を展開しているシンポジストの報告を参考に地域福祉のあしたについて考察する。

シンポジスト	小泉 立志 氏	岡山県老施協会 会長	千寿荘
	上平 智一 氏	岡山市 鹿田学区民生児童委員	
	多田 伸志 氏	NPO 法人	岡山マインドこころ
	中井 俊雄 氏	総社市社会福祉協議会	
コーディネーター	小坂田 稔 氏	美作大学	
コメンテーター	室田 信一 氏	首都大学東京	
	加山 弾 氏	東洋大学	

日韓学術交流企画 6月9日(日) 10:30~12:30

□ テーマ 「日韓の社会的企業による地域福祉実践—実践知の共有と拡散」

近年、社会的課題の解決にビジネス手法で取り組む社会的企業が注目を浴びている。多くの社会的企業は、社会的弱者への就労機会の提供や新たなサービスの開発、さらには地域再生や活性化などをミッションとして掲げ、社会的排除や制度の狭間の問題などの解決に取り組んでいる。本企画では、地域福祉の担い手や開発的ソーシャルワークの視点から社会的企業を取り上げ、日本と韓国の社会的企業による地域福祉実践事例を共有するとともに、地域福祉における社会的企業（起業）の役割や機能、新たな展開の可能性について考察する。

報告者	李 龍宰 氏	湖西大学
	川本健太郎 氏	立正大学
コーディネーター	呉 世雄 氏	宇都宮大学
コメンテーター	藤井 敦史 氏	立教大学

地域福祉演習教材開発ワークショップ 13:30~16:30

□ テーマ： 「協同に向けた社会資源開発のアプローチ」

代表	藤井 博志 氏	関西学院大学
----	---------	--------

日本地域福祉学会は、2018年度に地域福祉教育のあり方研究プロジェクトを発足し、現在国が進めている社会福祉士養成カリキュラム改正に対応すべく検討を進めてきた。プロジェクトは2019年秋までに、コミュニティを基盤とするソーシャルワークを展開できる人材を養成するための演習教育のあり方について報告書を取りまとめる予定である。ワークショップでは、地域福祉演習教材の開発に焦点を絞り、協同に向けた社会資源開発のアプローチについて会員とともに検討してみたい。

3 自由研究発表申し込み

1. 申込方法： 口頭発表とポスター発表のいずれかで大会専用ホームページからお申し込みください。
受付業務は、名鉄観光岡山に委託しております。申込みを受付完了次第、名鉄観光岡山より申込確認メールが送られます。2～3日たっても確認メールが届かない場合は名鉄観光岡山にお問い合わせください。

2. 発表申込： 発表申し込み締め切り **2019年3月20日(水) 24時締切**
申し込みには、演題と要旨集レジュメの登録が必要になります。原稿は下に説明する「自由研究発表の原稿様式」に基づき作成してください。原稿は①研究の目的、②研究の方法、③倫理的配慮、④結果・考察という基本的な枠組みを示して執筆してください。結果・考察について「当日資料配布」という未完成原稿は認められません。
自由研究発表の原稿様式（フォーマット例は6ページ参照）
 - ① 1発表につきA4縦1枚（横書き）
 - ② 余白上下25mm 左右20mm
 - ③ 文字数 1ページ 40字×40字
 - ④ フォント 主 題：12ポイント MSゴシック・中央揃
副 題：10.5ポイント MSゴシック・中央揃
氏 名：10.5ポイント MS明朝
所 属：会員番号：9ポイント MS明朝
見出し：11ポイント MSゴシック
本 文：10.5ポイント MS明朝（だ・である調で記入）
 - ⑤ 記述内容： 1. 研究の目的、2. 研究の方法、3. 倫理的配慮、4. 結果・考察

3. 要旨書式： 要旨集レジュメの様式は、大会用ホームページからダウンロードできます。必ず所定の書式に従って提出してください。提出された原稿は、研究倫理、様式等を確認した上で、版下として印刷・製本されます。

4. 発表資格： 日本地域福祉学会員であることが条件です。なお、以下についてのルールが守れないと発表資格が無いと判断されることがありますのでご注意ください。①発表者は、2019年3月末現在、日本地域福祉学会の会員として理事会で承認されていること（3月末までに新入会が認められた場合、4月末までに入会金、会費を支払うこと）が前提です。②発表の要旨集レジュメに、必ず会員番号をご記入ください。共同研究報告で1名でも会員番号の記載が無ければ発表要旨の受理が出来ません。（入会申請中の場合は、入会申請中と記入してください。入会が認められ次第、会員番号をお知らせしますので、後日会員番号の記入をお願いします）。③発表の申し込みをした会員は **2019年5月10日(金) 24時**までに大会参加費をお支払いください。④2018年度分までの学会費は事前に必ず納入しておいてください。

5. 発表件数： 筆頭発表者（ファースト・オーサー）は1演題に限ります。したがって、演題の申し込みは必ず筆頭発表者が行ってください。演題の申込者と筆頭発表者が異なる場合は受理できません。なお、筆頭発表者は発表とは別に、他の研究発表等で共同研究者として名前を連ねることは可能です。

6. 要旨確認： 倫理的配慮の観点から原稿の修正等を求めることがあります。修正を求められた場合には、修正コメントに基づいて指定した期日までに再提出をしてください。再提出がされない場合には、発表を受け付けられません。

7. 要配慮の申請： 自由研究発表の際に配慮を必要とする方は、その内容を詳しく申請してください。
8. 分科会： 自由研究発表（口頭）を申し込まれる場合には、希望する分科会を次のリストの中からお選びください。

第1分科会	理論・歴史 地域福祉に関する理論・歴史
第2分科会	制度・政策、権利擁護 地域福祉に関する諸制度、政策、成年後見等の権利擁護等
第3分科会	主体・提供組織 行政、社協、ボランティア・NPO、住民組織、社会起業等
第4分科会	対象・対象者 高齢者、障害者、児童、生活困窮者、外国人等
第5分科会	地域福祉（活動）計画、運営管理 地域福祉計画、地域福祉活動計画、運営管理、評価等
第6分科会	地域福祉の諸活動 小地域福祉活動、見守り活動、サロン・居場所づくり活動等
第7分科会	地域福祉の方法 ケアマネジメント、ネットワーク、コミュニティソーシャルワーク等
第8分科会	福祉教育・福祉文化 学校教育、社会教育、ボランティア学習等
第9分科会	社会福祉施設・社会福祉法人 社会福祉施設、社会福祉法人による地域における公益的な取組等
第10分科会	災害と地域福祉 災害時要配慮者支援、福祉避難所支援、災害ボランティア支援等

4 発表方法

1. 自由研究発表（口頭）

- ① 発表時間： 1発表につき25分（発表15分、質疑10分）となります。
- ② 発表方法： パワーポイント等の映写目的のプロジェクター及びその他の視聴覚機器の使用はできません。 あらかじめご了承ください。
- ③ 配布資料： 当日の配布資料がある発表者は、50部を目安に当日持参してください。大会事務局では、印刷・コピー業務は対応できませんのでご注意ください。また配布資料の作成については、日本地域福祉学会の「研究倫理指針」を十分確認してください。
- ④ 資料配布： 当日配布資料は、分科会打ち合わせの集合時に、会場の係員にお渡しください。資料は、発表の直前に係員より会場の参加者に配布されます。

2. ポスター発表

- ① 掲 示： ポスター発表会場内の所定の場所（後日指示します）へ、6月9日（日）9：30までに持参ポスターを各自で掲示してください。掲示範囲は縦180cm・横90cmです。配布資料は「研究倫理指針」を十分確認してください。
- ② タイトル： ポスター最上部に、発表タイトル・発表者名・所属を明記してください。
- ③ 質疑応答： ポスター発表者は、6月9日（日）13：30～14：30の時間帯は、必ずポスター発表会場に在席して、参加者からの質疑に答えてください。

自由研究発表 様式見本 (A4 サイズ)

25mm

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (タイトル 12pt MSゴシック)

氏名 (所属・会員番号)
(10.5pt MS明朝)

※共同研究の場合は筆頭報告者の氏名に○印をつける

1. 研究目的 (見出し 11pt MSゴシック、本文 10.5pt MS明朝)
2. 研究の方法 (見出し 11pt MSゴシック、本文 10.5pt MS明朝)
3. 倫理的配慮 (見出し 11pt MSゴシック、本文 10.5pt MS明朝)
※この部分の記載がない場合、受理できません。必ず記入してください。
4. 結果・考察 (見出し 11pt MSゴシック、本文 10.5pt MS明朝)

25mm

5 大会参加申し込み

- 1 申込方法： 大会専用ホームページからお申し込みください。受付業務は名鉄観光岡山に委託しております。なお、保育や手話通訳等をご希望の方は、大会専用ホームページで詳細をご確認の上、お申し込みください。
- 2 申込期間： 事前申込締め切り **2019年5月10日(金) 24時締切**
- 3 参加費：

会員・非会員 事前申込	8,000円
会員・非会員 当日申込	10,000円
大学院生	4,000円
学部学生	無料

※非会員、大学院生の1日みの参加は半額となります。
※当日、大学院生と学部生は学生証を提示してください。
※申込み後の返金には一切応じられませんので、あらかじめご了承ください。
- 4 情報交換会： **会場は、川崎医療福祉大学3階レストラン(ミルクヤン)です。**

情報交換会の参加費は以下になります。

事前申込のみ	5,000円	(定員150名)
--------	--------	----------
- 5 昼食： お弁当(お茶付税込) 1食 1,000円
昼食としてお弁当を事前に申し込むことができます。
会場周辺には中庄駅と大学の間にコンビニが2店、スーパー1店があります。
- 6 宿泊： 宿泊は各自でご予約ください。
- 7 エクスカーション プログラム
日時：2019年6月7日(金)13:00~15:30
出発時刻及び場所 13:00 倉敷駅(北口:アリオ方面)
到着時刻及び場所 15:30 倉敷駅 ⇒15:50 川崎医療福祉大学
費用：3000円
コース：①倉敷市真備地区 「お互いさまセンターまび」
②総社市下原地区 「工場爆発と水害犠牲者ゼロで乗り越えた下原地区の偉業」
- 8 業者：名鉄観光サービス株式会社 岡山支店
〒700-0903 岡山市北区幸町8-29(三井生命岡山ビル9F)
TEL 086-225-2771 Fax 086-225-7494
担当 中西・藤川・三鬼・深井
メールアドレス okayama@mwt.co.jp

6 会場アクセス

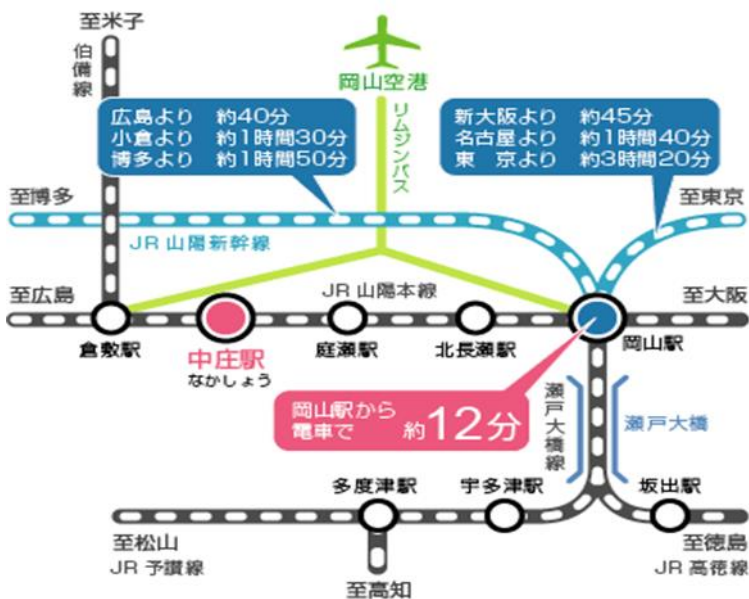
公共の交通機関を利用してご来場ください。

※ 但し、配慮が必要な方で車を使用する場合は事前にご相談ください。

川崎医療福祉大学



主要駅（JR 中庄駅）まで



7 問い合わせ先

〒701-0193 岡山県倉敷市松島288

日本地域福祉学会第33回大会 事務局 川崎医療福祉大学 岡崎 利治、李 永喜

E-Mail jracd-2019@mw.kawasaki-m.ac.jp 【大会事務局専用メールアドレス】